

新庁舎移転を契機に、さらなる市民参画を！



■新庁舎についてQ市民の声や見えてきた課題はAリフレッシュルームや木漏れ日テラスなど、市民にとって憩いの場としても親しんでもらえているようだ。分散庁舎が解消され、意思決定が速やかになり業務の効率化が図られた。初日の混乱についてはお詫び申し上げたい。3月末の煩雑期を想定し、今回の教訓を生かしていく

■総合ビジョンについてQ子どもも含めた市民にわかりやすい「やさしい版」の検討をA子ども版を作成する。授業での活用を想定し、中学生が市の計画に触れるきっかけとなることを目的とする

■ひかりプラザについてQ令和8年度から西部地区拠点親子ひろばとなるが、令和7年度はトライルームとして拡充。活用策はA令和7年度は4階を活用し、行事や保護者会などを試行。結果を踏まえ、翌年度以降に使用可能なスペースの効果的な活用を検討する

■特別支援学級の増設についてQ現段階での検討状況はA都との調整や施設の準備等の調整中。今後、学区の検討、教育課程の編成、該当する家庭への説明、入級希望調整等を実施し、できる限

り早い開設に向け準備を進める

■部活動の地域連携・地域移行についてQ経済的な負担増や地域の人材確保など懸念。どう進めるのかA生徒のスポーツや文化・芸術活動の機会を確保するとともに、部活動に携わる教員の負担軽減を図ることを目的に進める。保護者の負担増などの課題については、地域団体の代表者や保護者、教員等からなる推進委員会で慎重に検討する

■成年後見制度利用支援事業についてQ高齢者が増えていく中、この制度と終活相談支援、意思決定支援と居住支援を一体的に行う分野横断的な連携をA申立費用の助成を新設し、制度の利用促進を図る。自己決定を尊重しつつ包括的な支援体制を進める必要があると考える

■住宅マスタープランの改定についてQ住宅確保要配慮者への住宅セーフティネットの視点が必要。見解をA住宅確保要配慮者への居住支援は、さらに必要性が高まっていくものと認識。福祉部門とも連携しながら必要な内容を計画に取り入れていく

■西町五丁目や新町一丁目の緑地についてQ市内に残る数少ない貴重な樹林地。市民の

国分寺・生活者ネットワーク



小坂 まさ代

憩いの場として生かしていくよう期待。見解をA市内の緑地は保全していかなければならないと考える。都市計画緑地として指定し、市民懇談会等の意見を参考に整備を進める

■野川についてQ都の事業ではあるが、治水機能の向上や生物多様性の確保、親水空間化に向けた整備をと、市民も市議会も早期整備を望んでおり、市も同じ思いだと認識。見解をA野川については三者とも同じ思い。市長就任以来、都には要望を続けている。市民の機運醸成のため市民団体と協働で野川源流スクールを継続して実施

■PFASについてQ都が昨年公表した地下水調査結果によれば本市で140ng/Lが計測された。現況をどう見ているかAPFASの問題については当初から重く受け止め対応を図ってきているが、原因究明や具体的な対策については都としても難しい状況にある。引き続き都や他自治体と連携し正確な情報を収集し、適正な対応を検討する。

飛翔・飛躍となる令和7年度行財政運営を！



【子どもを育み 学びがつながるまち】◎保育所等における待機児童対策について問 課題は待機児童の解消。見解を。市長 認可保育所の定員見直し等、持続可能な手法で様々な対策を実施し、解消を図る。◎学校教育環境整備について問 三小・六小で外部民間施設利用の学校水泳指導が安定的に行われている。さらなる拡大に向けて計画的に推進すべき。今後の方向性は。教育長 二校についてプール校外化を継続。築造後長期間経過の屋外プール施設の劣化状況を踏まえ検討する。◎幼児教育・保育の充実、◎学童保育所について等を質問した。

【活気あふれる成長のまち】◎観光まちづくりについて問 党として要望していたVR・AR技術による史跡武蔵国分寺跡の建築物復元について評価。今後も夢広がるシティプロモーションの推進を。市長 「国分寺×宇宙」推進事業などの取組を通し、子どもたちの将来の夢が大きく広がるようなシティプロモーションを推進する。◎国分寺ならではのシティプロモーション、◎スポーツの推進について等を質問した。

【自分らしくいきいき暮らせるまち】◎健康推進施策について問 党として要望していた健康ポイント事業の導入を評価。若い世代にも活用してもらえる工夫を。健康に関するイベントの充実を。市長 イベントへの参加や累積歩数等でポイントが貯まり、電子マネー等の得点を獲得できるアプリ。市民の健康づくりへの支援に繋げる。イベントの充実も図る。◎がん検診事業について党として検査内容充実を要望していた「胃がん検診の内視鏡による個別検査の実施」を評価。◎認知症施策、◎黒鐘公園の防犯面の整備、◎平和事業について等を質問した。

【安全・安心で快適なまち】◎市独自の防災アプリについて問 聴覚障害のある方が便利に活用していただけるよう防災無線等の内容の文字表示は可能か。市長 通常はできない。災害時には音声合成システムを使用し文字表示が可能となる。◎防犯対策について問 党として要望していた住まいの防犯用品購入費補助事業の創設を評価。都と市の一本化で申請手続きできることが望ましい、可能か。市長 都の事業の詳

公明党



久保 けいこ

細連絡があれば上乗せして実施の方向で進める。

◎八潮市の道路陥没を受けて問 公共下水道の修繕等の対応や道路空洞化などのリスク調査はどのように行っているのか。市民への発信も重要だ。市長 リスク調査は平成26年度、27年度に道路ストック総点検で空洞調査を実施。大きな問題はないとの結果を確認した。

【未来につながる持続可能なまち】◎環境施策について環境保全等の計画やGXの推進などを担う「担当部署が新設。その意義と効果、施策展開のメリット」等を質問した。

◎令和7年度予算について問 ふるさと納税による市民税の流出が看過できない事態。市として税外収入の確保や多様な資金調達的手法など、どう予算に反映されたか。市長 市HP、地域バスマップ、広告掲載料等、税外収入を増加させることは財源確保のための非常に重要な取組と認識。引き続き様々な手法を検討する。

固定観念にとらわれない施策の挑戦を！



質問①：シティプロモーションは専門知識が重要！外部人材の積極活用をして欲しい！
⇒回答：積極的に専門家の力を借りて、効果的にSNSやシティプロモーションサイトを活用していきたいと考えている。

▼その他の質問
・フレイル予防から引きこもりの社会参画の施策としてeスポーツの活用は？
・消防団の報酬は見直す時期では？
・GIGAスクール端末の活用のPDCA検証を！

無会派 (日本維新の会)



寺嶋 たけし

・市職員をゼネラリストだけでなくスペシャリスト育成の視点と仕組み導入検討を！

市民のくらしと営業を支える市政を



《ぶんバスの運賃を値上げはストップを》
値上げの理由の一つとして「運賃の安いぶんバスに利用客が流れている」と市は説明してきた。ところが代表質問で市長は「運賃値上げをするに当たっての理由ではない」と答弁。説明が違

うことから、少なくとも、一度立ち止まり市民説明会からやり直すべき。
《市内事業者への支援具体化を早急に》
昨年末に1億7千万円が臨時交付されたが、新規の事業者支援策の具体化がない。物価高の中、

無会派 (日本共産党 国分寺市議団)



中山 ごう

この財源を活用して、すべての業種を対象にした事業者への支援策の具体化が早急に必要。

中長期を見据えた問題解決力の発揮を！



木村 = 新年度において、ふるさと納税の流出や103万円の壁問題等にどう臨んでいくのか。
市長 = 流出は10億5千万円を見込んでおり、また103万円の壁についても大きな影響がある。より地方のことを考えて頂くよう求めていく。

木村 = 生成AI活用を述べているが創造は人間だからこそ成し得る。その視点での人材育成を。
市長 = 豊かな発想力を備えた人材が必要であり、創造性に溢れた職員の育成に努めていく。
木村 = 2027年末には蛍光灯の製造が禁止される。

無会派



木村 徳

街路灯などLED化のスピードアップを。
市長 = 早期の100% LED化を進めていく。